

5GHz帯無線LAN向け
電源デカップリング

KF1-07-5



特長

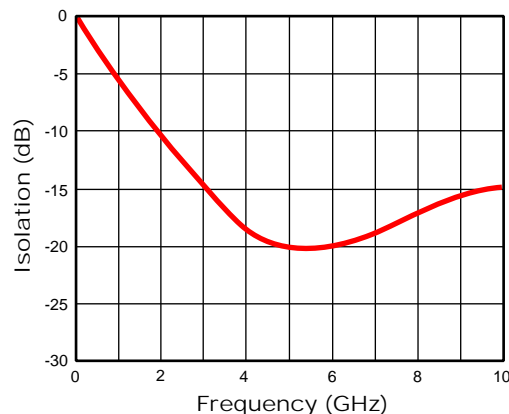
- ・超小型 1608サイズ
- ・低直流抵抗 35m
- ・高アイソレーション 20dB (@5GHz)

コイフィル™ KF1-07-5 は、IEEE802.11a HiSMANa ETC/DSRCといった、5GHz帯を利用した無線機器向けに開発された、電源デカップリングデバイス(RFチョーク)です。

アンプ出力部のバイアス回路において、従来のチップインダクタやフェライトビーズでは、5GHzでの充分なデカップリングができません。このことはアンプ出力レベルの低下だけでなく、不要な発振の原因ともなります。またベースバンド部やPC側へRF信号が干渉することにより、機器の誤動作を引き起こします。

KF1-07-5 は、1608サイズの超小型ながら、5GHzのRF信号を20dB(TYP値)という高アイソレーションでカットします。

減衰量 対 周波数



電気的特性

交流特性 (Ta=25)

項目	単位	MIN	TYP	MAX	周波数範囲
最大減衰量	dB	18	20	-	4.9~ 5.8 GHz
		-	15	-	3.0~ 8.0 GHz

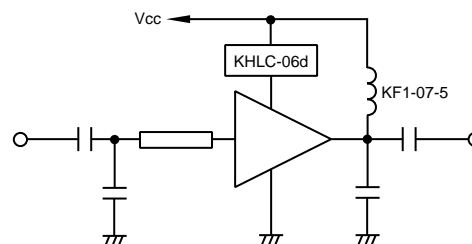
直流特性 (Ta=25)

項目	単位	MIN	TYP	MAX
直流抵抗値	m	-	-	35
最大定格電流	mA	2,300	-	-

用途

- ・ PA、LNA出力のバイアス回路(RFチョーク)
- ・ PCMCIAコネクタ電源部の高周波フィルタリング
- ・ その他ICの電源デカップリング

適用例



外形寸法図

